



今、聞かなければならない歴史がある！

大阪府・市が出資する平和博物館「ピースおおさか」が危機に瀕しています。

ピースおおさか設置理念のひとつは「中国、アジア・太平洋地域の人々、植民地下の朝鮮・台湾の人々に多大な危害を与えたことを決して忘れない」です。

しかし、府や市、ピースおおさかは、日本の加害の展示をなくそうとしています。

これに対して私たちは連続講座「戦争を忘れない」を行っています。

元日本軍兵士の証言

日中戦争と沖縄戦の二つの戦場体験を聞く

証言者 はじめ 近藤一さん (93歳)

1940年(昭15)入営し、敗戦まで陸軍兵士としてずっと戦場で過ごす。その間、中国・山西省でいくつもの作戦に参加。1945年4月米軍の沖縄上陸直後から2つ目の戦場を経験する。ピースおおさかが加害の展示を撤去しようとしている今、加害の事実、戦争の現実を聞きます。

※近藤さんの体調によりビデオでの証言の場合あり

解説：加藤修弘さん(山西省・明らかにする会)



日時 4月27日(日)

開場 午後1時 開演 1時30分

資料代 500円

場所 **PLP 会館**

大阪市北区
天神橋3丁目9-27

